

2019年2月25日

キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
 サクサ株式会社  
 株式会社システム・ケイ

# NEWS RELEASE

## キヤノンマーケティングジャパンとサクサグループが映像ソリューション領域で協業 映像管理基盤システム XProtect® と映像圧縮ゲートウェイ VC1000の連携システムを発売

キヤノンマーケティングジャパン株式会社(代表取締役社長：坂田 正弘、以下キヤノン MJ)とサクサグループのサクサ株式会社(代表取締役社長：磯野 文久、以下サクサ)および株式会社システム・ケイ(代表取締役：鳴海 鼓大、以下システム・ケイ)は、このほどネットワークカメラの映像ソリューション事業分野で協業します。

キヤノン MJ とサクサ、システム・ケイの三社は具体的な協業の第一弾として、キヤノン MJ の映像管理基盤であるビデオ管理ソフトウェア「XProtect®」とサクサの映像圧縮ゲートウェイ「VC1000」を連携させることで、ネットワークカメラで撮影した映像を高画質なままデータ容量を圧縮し、長時間録画やネットワーク環境負荷低減を実現する製品を2019年4月下旬より発売します。

近年、ビッグデータや AI を活用した人物の行動分析や機械の故障予測など、IoT を活用した解析ソリューションの市場拡大がさまざまな分野で期待されています。特に映像ソリューションの市場は、防犯用途において映像を単に録画するだけでなく、遠隔による人物や設備などの状況・状態把握から、映像解析による業務の見える化・効率化およびマーケティング支援など、多岐にわたり需要が高まっています。しかしながら、伝送・蓄積する映像データの大容量化に伴い、ストレージ容量の増大やシステムへの負荷増加のため維持管理・追加投資が必要となり、運用コストが増加する問題が起きています。

映像圧縮ゲートウェイ「VC1000」は、独自の圧縮処理技術により最大8台<sup>※1</sup>のネットワークカメラの映像を、符号化形式<sup>※2</sup>、解像度<sup>※3</sup>、フレームレート<sup>※4</sup>を変更することなく、最大約1 / 10のデータ容量に圧縮することができます。人が見て画質の劣化のない高品質で、遅延なくリアルタイムに処理できるため、高解像度の映像を必要としている場合や低速なネットワーク環境下において活用できます。これを高機能なビデオ管理ソフトウェア「XProtect®」と連携させることで、前述の社会課題を解決するさまざまな映像ソリューションを実現できます。食品製造業での長期録画や新築ビルの大規模案件、製造業・ブランド品店のフル HD 録画など多様なニーズに応えます。

キヤノン MJ は映像管理基盤システム「XProtect®」を中核とした映像ソリューション事業を強化しており、画像解析機能の拡充や IoT デバイスとの接続、クラウドサービスとの連携、業種・業態別のシステム構築ビジネスなどを展開してきました。今後三社は、市場要望に見合った製品・サービスの創出を目指し、営業面や技術面だけでなく互いの強みを生かす幅広い連携により、さまざまな分野での新たな映像ソリューションを開発し、互いのチャンネルへ展開していきます。例えば、顔認識や車両ナンバー認識等のアプリケーションと連携した映像解析による映像ソリューション展開や、ネットワークカメラ映像の解析結果を IoT 機器と連動させるなど、付加価値の高い映像 IoT サービスなどに展開していきます。

※1 (VGA カメラ 8台、HD カメラ 8台、フル HD カメラ 4台)

※2 (H264)

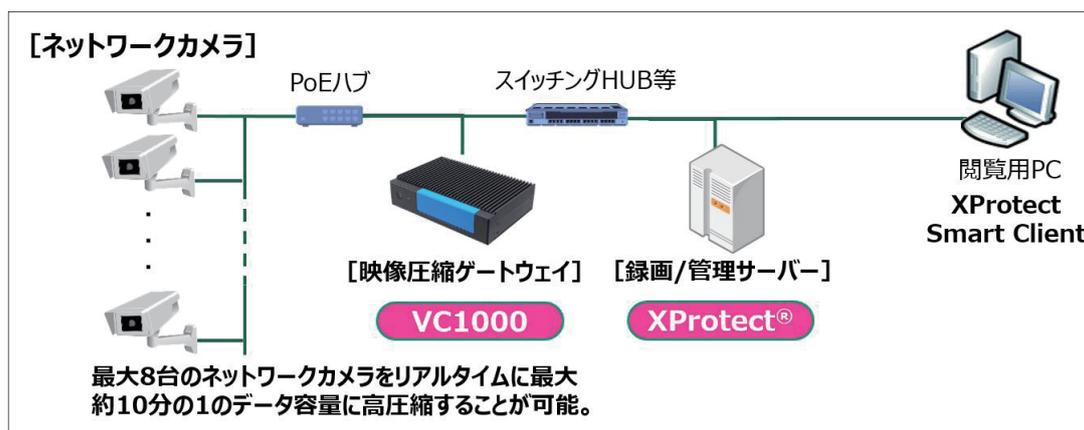
※3 (VGA、HD、フル HD)

※4 (5 ~ 30FPS)

システム名	価格(税別)	発売時期
VC1000 XProtect 連携システム	100万円~*	2019年4月下旬

\*カメラ4台構成の場合。ユースウェア、保守料金は含まれません。システム構成などにより価格は変動します。

## <システム構成図>



## <導入例>

<p><b>工場・製造</b></p> <p>作業状況確認・フードディフェンスの映像記録・配信</p> <p><b>効果例</b></p> <p>高精彩画像の長時間録画</p>	<p><b>既設・低速ネットワーク</b></p> <p>店舗の確認・本社-支社間通信の映像記録・配信</p> <p><b>効果例</b></p> <p>ネットワーク負荷軽減 低帯域でも映像閲覧可能</p>
--	---

## < SECURITY SHOW 2019の出展について >

3月5日から8日まで東京ビッグサイトで開催される「SECURITY SHOW 2019」のキヤノンブースにおいて、ビデオ管理ソフトウェア「XProtect®」と映像圧縮ゲートウェイ「VC1000」の連携システムを展示予定です。

## <三社の説明>

キヤノン MJ は、映像管理基盤のビデオ管理ソフトウェア「XProtect®」を中核にした映像ソリューションビジネスの拡大に注力しています。「XProtect®」と連携する映像解析ソフトウェアの機能強化やラインアップ拡充、アライアンスによるさまざまなサービスと連携したソリューションを展開することで、安心・安全を見守るためのツールから、生産性向上やマーケティングへの応用など、お客さまのさまざまな課題を解決するソリューションを提供していきます。

サクサグループのサクサおよびシステム・ケイは、これまでネットワークカメラやNVRなど監視カメラシステムを中心に映像ソリューションを提供してきました。さらに映像圧縮システムや画像認識、解析等の技術を生かした付加価値の高いアプリケーションサービスを提供することで映像事業の拡大に取り組んでいます。今後、顔認識や車両ナンバー認識等のアプリケーション連携による映像解析などさまざまな映像ソリューションを提供していきます。

## <一般の方のお問い合わせ先>

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

NVS 企画部 NVS 商品企画第二課

03-6719-9652

サクサ株式会社

インキュベーション推進本部 映像事業推進部

03-5791-5521